



もっと図書館を活用しよう！ 雑誌スポンサー

市立図書館で雑誌を閲覧している際に、「雑誌スポンサー」という言葉を見かけたことはありませんか？

「雑誌スポンサー制度」は、雑誌代金を負担して、図書館で配架される雑誌に広告を掲載できる制度です。

地域貢献によるイメージ向上の機会として、ぜひご活用ください！

◎申込方法

以下の書類をそろえて提出してください。

- ①鹿児島市図書館雑誌スポンサー申込書（図書館ホームページに様式あり）
- ②広告の見本（図案）
- ③会社概要等（業種や営業活動がわかるもの）

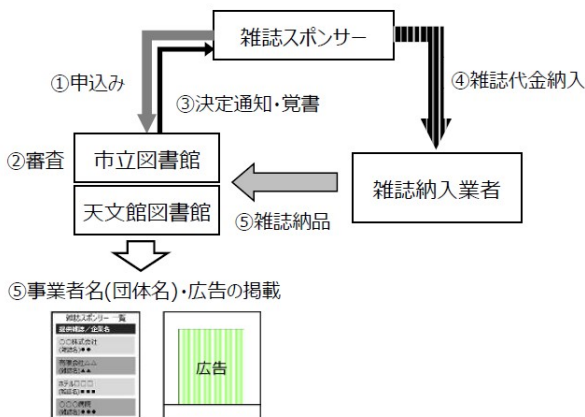
<提出方法>

市立図書館へ直接持参、電子メール又は郵送のいずれか

<その他>

- ・何誌でも申し込みできます。
- ・同一の雑誌に複数の応募があった場合は、申込日の早い方を優先します。
- ※申込日が同一の場合は抽選となります。
- ※詳しくは市立図書館HPをご覧ください。

手続きの流れ



かわいい「豆本を読むティディベア」 ができました！

今年の図書館フェスタ午前の部では、鹿児島国際大学ビブリア倶楽部有志3名によるワークショップ「豆本を読むティディベアを作ろう！」を行いました。

参加者の皆さんは、好みの色の折り紙でティディベアを作り、豆本作りにも挑戦しました。遊びながら、本がどんな作りになっているかも理解してもらえたようです。



館内での飲み物の取り扱いを見直しました

8月20日より、市立図書館と公民館図書室で、ふたつきペットボトルかマイボトルのものに限り、飲み物をお飲みいただけるようになりました。

館内でお飲みいただける 飲み物の形状	館内でお飲みいただけない 飲み物の形状
<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル ・マイボトル(水筒) 	<ul style="list-style-type: none"> ・缶 ・紙パック ・ストローをさして飲む容器

9月の行事予定



日	曜	行事等
3	土	キッズタイム「はじめてのビブリオバトル体験教室②」
10	土	キッズタイム「りとりるコアラ」
11	日	図書館シネマ
15	木	絵本とわらべうた講座③
16	金	大人のための夜の詩とおはなしの会
17	土	図書館講座②
21	水	自分史づくり講座⑤
24	土	みんなのための図書館活用講座
25	日	図書館シネマ

★毎週木：おはなしのじかん

★第2・4金：あかちゃん・幼児のためのおはなし会

一般書貸出ベスト 10

(8月26日現在)



1	もう別れてもいいですか	垣谷美雨
2	無明	今野敏
3	希望の糸	東野圭吾
3	倒産続きの彼女	新川帆立
3	マスカレード・ゲーム	東野圭吾
6	小説 8050	林真理子
7	流浪の月	凧良ゆう
7	透明な螺旋	東野圭吾
7	石礫	今野敏
10	52 ヘルツのクジラたち	町田そのこ
10	やめるな外科医	中山祐次郎

※ランキングの詳細は、図書館ホームページにも掲載してあります。

新型コロナウイルス感染症対策のため、「マスクの着用」「ソーシャルディスタンスの確保」「手洗い・手指消毒」にご協力をお願いいたします。

また、行事等についても定員が設けられており、新型コロナウイルス感染症等の状況によっては**変更**となる場合があります。最新の情報は、図書館ホームページ等でご確認ください。

「みんなの図書館活用講座」の参加者募集



市立図書館・天文館図書館・電子図書館の利用について、ネットを使ったサービスや登録など困ったこと、分かりにくいことはありませんか？ そのお悩みを、この講座で解決いたします！

日時：令和4年9月24日（土） 14時～15時

定員：15人（先着順）

※申込み方法：専用の申込用紙、はがき、電話、Eメールのいずれかで、氏名、住所、電話番号を明記のうえ、9月21日までに市立図書館へ。

新着おすすめ本の紹介

ウクライナにいたら戦争が始まった

著者：松岡圭祐
出版社：KADOKAWA
請求記号：F マツ

単身赴任中の父と過ごすため、母・妹とともにウクライナに来た高校生の琉唯。ロシアによる侵攻が近いとのニュースが流れ、一家は自宅から出ることができないまま、町は一瞬にして戦場と化し…。凄絶な体験を描く実録的小説。

怪虫ざんまい

著者：小松貴
出版社：新潮社
請求記号：486.0 ㄐ

凄絶ホラーな寄生虫、マニア垂涎のカミキリ、碧く輝く希少ゴムムシ、井戸底の絶滅危惧種…。日々虫たちを追いかけて東奔西走している昆虫学者が、近所に棲む超極小、超マニアックな虫の魅力を紹介する。『波』連載を書籍化。

タガヤセ!日本

著者：白石優生
出版社：河出書房新社
請求記号：Y612.1 シ

現役官僚YouTuberとしてメディアにも登場する著者が最新の農業から、実はすごい日本の農作物、日本の農業の未来までを語る。「日本の食材豆知識」などコラムも掲載。
★著者は鹿児島県生まれ、鹿児島大学法文学部卒業。